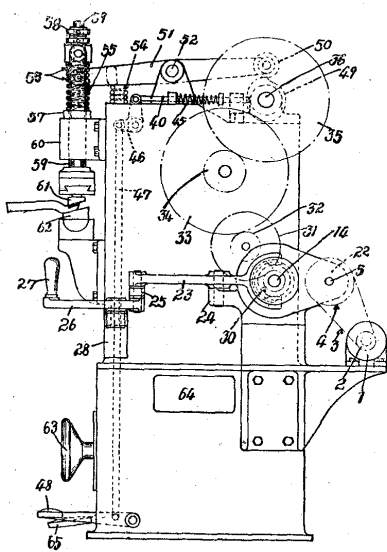


特許出願公告及び特許抜萃

特許公告抜萃

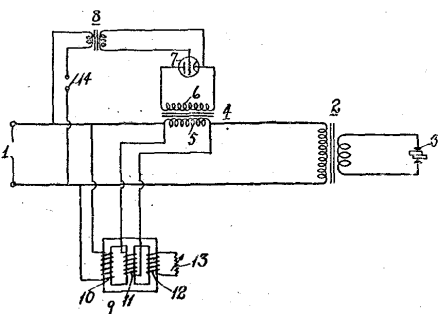
活字鑄造機用堅型横振止兼鑄型との緊定装置 (14年特許出願公告第4984號, 公告14-10-3, 神戸, 田中政一郎), 本發明は上下鑄型の前面に昇降せしむべく設けたる堅型にV字形をなして之に段階部を形成せしめたる觸面を設け之を其の上部に於て中央樞着のL字形杆の垂下部に接觸せしむべくなし該L字形杆の後端には螺子を螺着し之を上部鑄型に植設せる突子に接觸せしむべくなした活字鑄造機用堅型横振止兼鑄型との緊定装置に係る。

熔接機に於ける熔接部加壓装置 (14年特許出願公告第5039號, 公告14-10-3, 豊中市, 阿部嘉藏) 本發明は圖に示す如く電動機



(1)の軸より廻轉せらるる被動軸(5)より減速機(22)内の齒輪列を經て減速軸(14)を廻轉すべくし同軸(14)上の齒輪(30)より傳動齒輪を經てカム軸(36)を廻轉せしめ之に定着せるクラッチ(39)と軸(37)に摺動すべく嵌合せるクラッチ(40)との齧合によりカム(49)を間歇的に廻動すべくなし尙カム(49)の作動を受くる擺動レバー(51)の一端を加壓杆(59)に關着し該加壓杆が被熔接片に達すると同時にクラッチ(39)(40)の齧合を外づしカム(49)の廻動を停止し被熔接片を加壓杆上の彈機(55)にて押壓せしめ次に電極(61)(62)に通ずる電流にて被熔接片が熔融状態に達したる時カム(49)に急廻轉を及すべき減速機(22)の變換レバー(23)を具へしめ且熔接を終り加壓杆の上昇終點に達したる時前記クラッチ(39)(40)の齧合を自動的に離脱しカム(49)の廻動を停止すべき至溝(43)とピン(44)との嵌脱機構を具備せしめた熔接機に於ける熔接部加壓装置に係る。

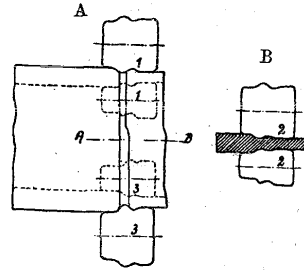
電氣抵抗熔接装置 (14年特許出願公告第5040號, 公告14-10-3, 大阪, 大阪電氣株式會社) 本發明は圖示せる如く二次側に熔接端子を設けたる熔接用變壓器の一次側に直列變壓器を挿入し其二次側に格子制御放電管を接続すべくしたる電氣抵抗熔接装置に於て電源電壓にて附勢せらるる漏洩變壓器の二次



誘起電壓を以て前記直列變壓器を電源電壓と逆方向に勵磁すべくなした電氣抵抗熔接装置に係るもので非熔接時に熔接端子電壓を零ならしめ以て該端子間に於ける短絡電流を完全に遮斷し熔接時には電源電壓に近き電壓を熔接用變壓器に供給する如く構成せり。

管壓延機 (14年特許出願公告第5066號, 公告14-10-5, 獨

逸, ドイツエ, レーレンウエルケ, アクチエンゲゼルシャフト), 本



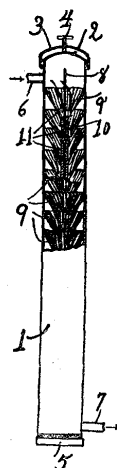
發明は圖面に示す如く突條を備へたるコロの數組を其の各の軸が中空素材の軸線に對し傾斜する様螺旋狀に配置して之等コロにより素材を順次に軸方向に伸長せしむる様なした管壓延機に於てコロ自身を其軸線方向に偏倚し得べくなし以て素

材の導入に當り相續いて作用せらるべきコロ群に於ける一組以上のコロの突條が同時に素材端部に接觸する様構成した管壓延機で中空素材の導入に當りコロに依る其把握を容易且確實ならしめたものである。

珪ニッケル鑛の濕式製煉法 (14年特許出願公告第5074號, 公告14-10-5, 東京, 鴨川ニッケル株式會社), 本發明は珪ニッケル鑛の粉末に水蒸氣を通しつづ焙燒し次に之を亞硫酸液にて處理し該抽出液に適量の黃血鹽液を混和して生ずるフェロシヤン化ニッケルの沈澱を母液より分離した後該沈澱を苛性アルカリ液にて處理し水酸化ニッケルを生成すると共に副生せる黃血鹽を回收し該鹽を反覆利用する方法である。珪ニッケル鑛中には多量のマグネシウム及鐵を含有する爲酸にて0.2~0.8%含有のニッケルを溶出せんとする時はマグネシウム及び鐵が殆ど同時に溶出せられ後にアルカリ等にて沈澱する時は又同時に沈澱し其の分離が困難であるが本方法に依る時は鐵は少量のみ溶出せられ沈澱物には少量の鐵を含むのみで之を還元する時は純ニッケルが容易に得られるものである。

鐵鋼の着色防錆法 (14年特許出願公告第5075號, 公告14-10-5, 東京, 幸田文輔), 本發明は亞硝酸ナトリウム, 次亞硫酸ナトリウム, 水酸化ナトリウム, 鹽化アモニウム及鹽化ナトリウムの水溶液を沸騰せしめ之に鐵鋼品を浸漬し鐵鋼面に四三酸化鐵の被膜を生ぜしむる鐵鋼の着色防錆方法であり簡単に且速かに酸化鐵被膜を得且處理液の効果を永く持續せしめ得るものである。

ロヂウム鍍金法 (14年特許出願公告第5133號, 公告14-10-



-10, 東京, 株式會社小糸製作所) 本發明は硫酸ロヂウム又は磷酸ロヂウムを主成分とするロヂウム電氣鍍金液にベンゼンスルホン酸, トルオールスルホン酸, スルフォ安息香酸, ナフタレンスルホン酸, ナフチラミンスルホン酸, スルホン脂肪酸の如きスルホン酸を添加した溶液を電氣鍍金液として使用するロヂウムの鍍金法であり従來の方法に比し作業時間を延長しても電着面に曇りを生ぜず相當厚く鍍金し得且潤滑にして美麗な鍍金面を得られる。

ガス濾過装置 (14年特許出願公告第5135

號, 公告14-10-10, 大分市, 佐藤健一) 本發明は圖面に示す如く動植物性纖維の細條片を傘骨狀に密植した濾過材を1筒又は適宜間隔を設けて2筒以上外筒内に挿入せしめたガスの濾過装置に係る。

鑛水の加硫收銅法 (14年特許出願公告第5137號, 公告14-10-10, 東京, 日本鑛業株式會社) 本發明は銅又は鐵等の金屬鹽類

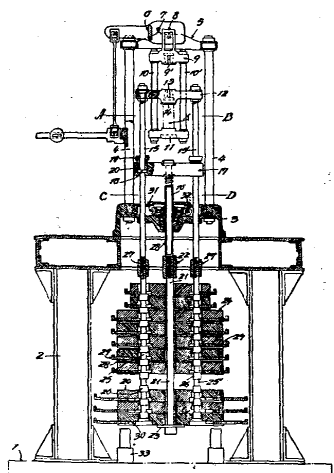
並に遊離硫酸類を含有する鑛水に硫化水素又は同放加硫劑を加へて鑛水中の銅分を硫化物として沈澱せしむる加硫收銅法に於て加硫劑の添加に先立ち原鑛水に亞硫酸又は亞硫酸を基とする還元劑例へば亞硫酸鹽、重亞硫酸鹽、又はハイドロサルファイト等を添加し鑛水中の第二鐵鹽の如き還元性成分を第一鐵鹽の如き低次化合物に還元する鑛水の加硫收銅方法であり副作用のために消耗する高價な加硫劑を安價な亞硫酸又は亞硫酸を基とする還元劑により代置し加硫劑の消耗を極減せしめ且沈澱銅の品位を高上せしめ得るものである。

電氣用カーボン製品製造法 (14年特許出願公告第 5156 號, 公告 14-10-10, 横濱, 日本カーボン株式會社) 本發明は成形せる木材を低温度で徐々に炭化し緻密な炭素塊となすか又は低温度で炭化した木炭を適當に成形し之を乾燥し減壓状態となし熔融したピッチ又はコールタール若しくは樹脂中に浸漬し充分浸透包孕せしめ氣孔を充填せる後電氣爐内で加熱して炭素を黒鉛化する方法であり従來のもの如く炭素物質を粘着劑に依り成形し焼成固結すること無く塊狀炭素の氣孔を充填し黒鉛化する事により電氣抵抗低く機械的性質優れた電極弧光用炭素棒等に好適な黒鉛炭素を製造し得るものである。

メタンガスより水素及一酸化炭素ガスを製造する方法 (14年特許出願公告第 5208 號, 公告 14-10-16, 臺灣總督) 本發明はメタンガス又は天然ガスの如きメタンガスを主成分とするガス二容と酸素ガス一容との混合ガスに爆發誘導劑として水素一酸化炭素アセチレンの如き廣爆發範圍を有するガス或は炭素微粒粉又は金屬微粒粉の如きものの少量を加へ1~10氣壓の範圍に於て電氣火花を用ひて爆發酸化せしめ一酸化炭素一容水素二容の混合ガスを製造する方法である。

コロイド化學的連續操作に依り硫黃を抽出する方法に於ける原鑛處理方法 (14年特許出願公告第 5274 號, 公告 14-10-24, 東京, 大河平光雄) 本發明は土質硫黃鑛を微粉碎し之に注水し攪拌して硫黃鑛石パルプを得該硫黃鑛石パルプ中に適量の珪酸曹達を添加し攪拌することに依り硫黃鑛石パルプをして微鹽基性を呈せしめ依て疎水性の硫黃コロイドをして親媒性硫黃コロイドを胞化せしめて硫黃コロイド胞液を得ることを特徴とし爾後硫黃コロイド胞液を濾過し該濾液を酸にて中和し微酸性を呈せしめて硫黃粒子を沈析し透析熔融して硫黃を抽出する處理方法に係る。

材料強弱試驗機 (14年特許出願公告第 5252 號, 公告 14-10-24, 大阪府, 池下守清) 本發明は圖に示す如く實荷重を支持せしめ



たる昇降傳力抽の先端に傳力版を取付け該傳力版に結合又は解離する様なした作動杆を通し傳力軸の下降により作動杆に前記重錘を負荷せしめ得る如く構成した材料強弱試驗機に係り通常の試驗機に特種機構を施すことに依り普通材料試驗と同様引張り壓縮彎曲試験を爲し得るは勿論普通試驗機にては企及し得ざる大重量即ち試驗機の全力量に相當する實重錘の重錘を負荷して引張り壓縮彎曲に對する變形

其の他の耐力試験を爲し得る性能を具備せしめ而も極めて簡單容易

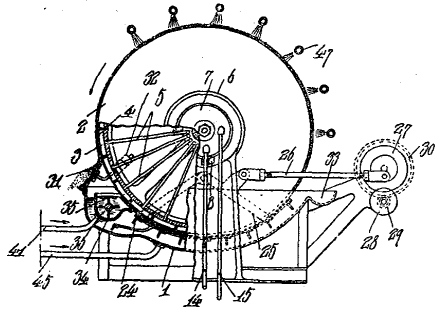
に普通材料強弱試験と實重錘負荷耐力試験の轉換使用を便し且標準重錘を使用することにより材料試験機自體の指示補正をなし又他の測力器の指示補正を爲し得るものである。

酸化ニッケルの製造法 (14年特許出願公告第 5277 號, 公告 14-10-24, 東京, 日本ニッケル株式會社) 本發明は Ferr-Ni, Ferr-Ni-Cr 等の如き Ni 含有金屬に亞硫酸カルシウムを混加し之を熔融する限度に於て加熱し硫化ニッケルを生成せしめた後空氣を供給して鐵分を酸化除去する第一工程と上記工程にて得たる硫化ニッケルを焙燒して酸化ニッケルと亞硫酸ガスとに分解し上記亞硫酸ガスを生石灰に吸収せしめて亞硫酸カルシウムとなし該亞硫酸カルシウムを前工程に循環せしめて硫化ニッケルの生成に供すべくした第二工程との結合よりなる酸化ニッケルの製造法に係る。

鍛鍊用強力輕合金 (14年特許出願公告第 5278 號, 公告 14-10-24, 大阪, 住友金屬工業株式會社) 本發明は Zn 3~20%, Mg 1~10%, Cu 1~3%, Cr 0.1~2%, を含み Mn 0.1~2% を含み又は含まず殘部 Al より成る鍛鍊用強力輕合金に係るもので抗張力大にして且時期割れ少なき特性を有する。

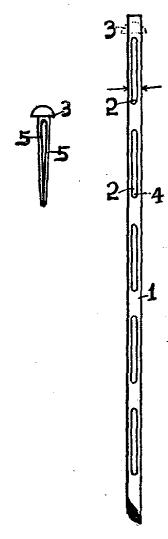
金屬品の清淨後銹の發生を防止する處理方法 (14年特許出願公告第 5280 號, 公告 14-10-24, 米國, ユナイテッド, エンヂニアリング, エンド, ファウンドリ, コムパニー) 本發明は酸漬により金屬面を清淨ならしめた後其の面が未だ濕状態にある間に之に油を給附する清淨後の銹の發生を防止する方法であり従來の金屬面を清淨ならしむる酸漬處理に於て酸漬後冷水にて水洗し次で熱湯にて洗ひ乾燥を待て之を銹止用として油を給附する方法等に比し油給付前の銹の發生を完全に防止し且處理金屬面を清淨ならしめ得る効果を有するものである。

眞空式吸引濾過機の改良 (14年特許出願公告第 5336 號, 公告 14-10-25, 臺灣, 國松安治良) 本發明は圖に示す如く眞空式吸引濾過機に於ける原濾過液貯槽内の



一側に於て濾過面の最初に液中に浸る部分に沿ひ特殊の液室を設け之に貯槽内の

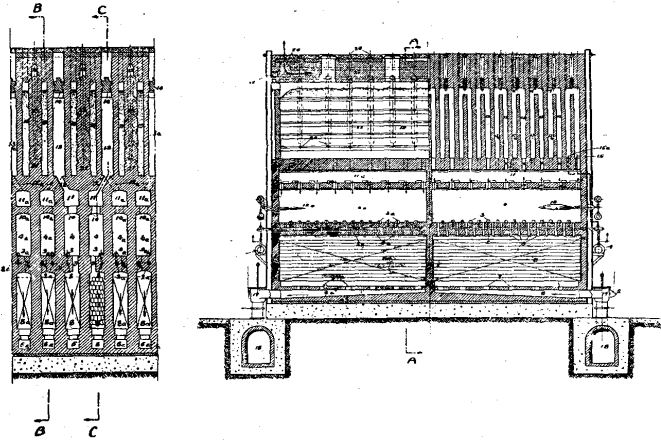
原濾過液よりも特に懸游固形物を多量に含有する比較的濃厚な原濾過液を收容する様構成した吸引濾過機に係るもので濾過面の液中に浸る初めに於て該濾過面に懸游固形物を速かに且厚く層着せしめて濾滓をして濾過材としての作用を一層有效ならしめ得たものである。



割脚鉸製造法 (14年特許出願公告第 5339 號, 公告 14-10-25, 大阪市, 牧芳雄) 本發明は圖示する如く針金に均等間隔にして且兩側を同副とし其の中央部に長方形の縦孔を順次貫設しつつ該孔を定規として針金を週時的斷續して移送し縦孔の前端を締持し針金の切斷面を敲き鉸頭を形成すると同時に縦孔を相方より挾締壓縮し其後端より切斷して閉脚せる割脚を鉸頭と共に工作する工程を順次連續施行する割脚鉸製造法に係る。

金屬微粒子の製造方法 (14 年特許出願公告第 5344 號, 公告 14-10-25, 川崎市, 東京電氣株式會社) 本發明は真空又は低壓容器内で金銀銅等の金屬を電熱に依り加熱して蒸發せしめ該金屬蒸氣を無機又は有機性の固體粉末より成る分散媒體と接觸せしめて其表面に化學的に不安定な状態に於て被着せしめて金屬微粒子を製造する方法である。

石炭低温乾溜装置 (14 年特許出願公告第 5345 號, 公告 14-10-25, 獨逸國, フリードリツヒ, ヘルト) 本發明は圖に示す如く



爐廓の各 2 個の狹隘室狀乾溜室を其の間に介在する加熱壁に依り一側に於て加熱し此の場合に發生する乾溜ガスを同様に他の一側に於て而もコークス化流の方向に於て強制的に最短行程を通して各 2 個の爐室間に介在するガス路壁内に吸出する様構成した乾溜装置に係るもので水平室爐に於て加熱壁を必要なる程度に低温に保持し乾溜ガスの分解を惹起せしめざる如く操作し得るものである。

金屬合金金屬化合物其他氧化の困難なる類似物質の氯化方法 (14 年特許出願公告第 5346 號, 獨逸, ルードルフ, マイエア) 本發明は金屬合金化合物等の氯化困難なる物質を坩堝爐内で加熱し蒸氣狀となし金屬酸化物の如き工業用固體特に微細なる分配状態に於ける固體に變する場合に於て爐内底面か若くは爐内に別に設けた底板をして氯化せんとする資料により全面的に被覆せしめらること無からしめ該非被覆面部を以て資料に對して輻射を行はしめて前記底面をして常に資料の沸點以上の溫度に於て作用せしむる氯化方法に係る。

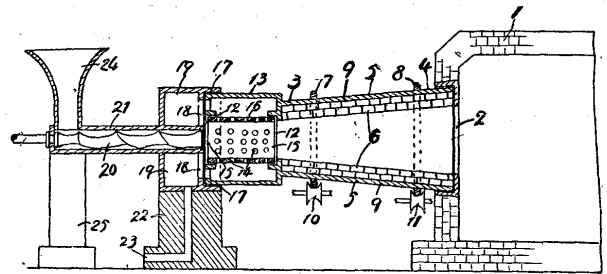
アルミニウム合金厚肉材の焼入効果を均一化する方法 (14 年特許出願公告第 5347 號, 公告 14-10-25, 東京, 航空研究所長) 本發明は Al 合金を熱處理するに當り該材を適當な網目を有する金屬網を以て密着包被せしめた後焼入溫度に加熱し之を其の儘急冷する焼入方法に係るもので厚肉材の焼入効果を均一ならしめ内部歪の發生を僅少ならしめ且冷却を可及的急速ならしめ得るものである。

亞鉛又はカドミウムの面に模様を顯出せしむる方法 (14 年特許出願公告第 5348 號, 公告 14-10-25, 高岡市, 米田外次郎) 本發明は Zn 又は Cd 面に珪酸鹽を基劑とし之に炭酸石灰の微粉末を混ぜる塗料を以て所要模様を描き然る後加熱することにより珪酸鹽は水に不溶性皮膜に變化すると共に他方金屬部分に多孔質の酸化被膜を構成せしめ次で染料溶液に卵蛋白質を摺拌混合せしめたる溶液を以て前記酸化皮膜を染色した後弱酸を以て處理し模様部分を溶解除去し金屬面を現出せしめ其上に他種金屬の鍍金を施す方法である。

銅ロール製造法 (14 年特許出願公告第 8036 號, 公告 14-10-25, 京都, 石川長次郎) 本發明は鐵ロール其他の金屬ロール又はファイバーロールの表面に銅線を螺旋狀に緻密に巻付けて生地を被覆し加熱又は加熱加壓に依り巻付け銅線間を接合して一體化せしめ後研磨して均一の表面となした銅ロール製造法に係り銅ロールの直徑を補充し又は異種體ロールの表面を銅ロールに化せしめ捺染用型付用等の彫刻ロールに適切なものを得るものである。

炭素電極製造法 (14 年特許出願公告第 5388 號, 公告 14-10-25, 横濱, 日本カーボン株式會社) 本發明はタール又はピッチより粘稠性樹脂物質を溶解し該溶液より溶劑を蒸溜し其残渣たる樹脂質物を粉碎し之を接合劑として炭素質物に加へ加熱壓排成形し後焼成する炭素電極製造法に係るもので質實堅硬にして電氣抵抗少なき特徴を有する。

微粉炭を燃燒せしむる装置 (14 年特許出願公告第 5394 號, 公告 14-10-28, 市川市, 長谷川重作) 本發明は圖に示す如く一方を

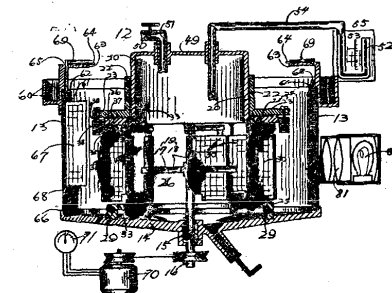


狹小にし他方を擴大ならしめた回轉圓筒の擴大部分を爐の開放口に裝嵌し他方狹小部分に接着して第 1 通風筒を設け該通風筒内に周圍に多數の小孔を穿ちたる鐵板製圓筒を挿嵌し其の第 1 通風筒を回動し得べく挿嵌部に挿嵌し此の挿嵌部に隣接して第 2 通風筒を設け該通風筒に定着して内部にスクリーンを裝置したスクリーン筒を設け其の末端に漏斗を裝着した微粉炭の燃燒装置に係る。

酸化アルミニウムの製法 (14 年特許出願公告第 5417 號, 公告 14-10-28, 獨逸, イーゲー, フアルベンインヅストリー, アクチエンゲゼルシャフト) 本發明は内部加熱爐中に於て 800°C 迄の溫度に於て先づ二酸化硫黃を形成しつつ完全なる還元を行ふには不充分なる量の炭類を以て還元し最後に豫め半融することなく約 1,200°C 迄上昇する溫度に於てガス還元劑を以て還元しボーキサイト, 明礬石等より硫酸アルカリとの混合物の還元によりアルミン酸鹽及二酸化硫黃を製造する方法に係るもので極めて歩留よくアルミナ鍍り酸化アルミニウムを製造し得るものである。

浮游選鑛試驗機 (14 年特許出願公告第 5420 號, 公告 14-10-28, 愛媛, 中村公一) 本發明は圖示せる如く硝子様透明側壁を有つ

堅型機械攪拌浮游選鑛試験に於て網目平板を起泡用翼とし聯動可變混氣鑛液誘導裝置, 起泡用翼回轉數可變裝置, 調壓裝置及時限調節裝置を設け上記各装置には夫々適當なる計器を設け及試験機内照明裝置を附した浮游選鑛試験機に係るものである。



ニッケル合金の改良 (14年特許出願公告第5423號, 公告14-10-28, 仙臺, 金屬材料研究所長) 本發明は特許第118210號の發明の追加發明にして Fe 10~14%, Co 5~50%, Cr 7~10%, Si 1~5%, Mn 1~2%, 残り Ni より成る合金にして原特許の合金中の鐵含有量を 10~14% とする時 Co 含有量を原特許のものより著しく多くなし同時に Cr 量を少くし尙且略々同様の特性を發揮せしめ熱處理により加工を容易ならしめたものである。

アルミニウムガス熔接用煤劑 (14年特許出願公告第5424號, 公告14-10-28, 東京, 渡邊繁松) 本發明は硼砂, 硫酸加里, 及鹽素酸加里を混和し之に少量の食鹽を混和したアルミニウムのガス熔接用煤劑に係る。

磁性を有せざる酸化鐵礦石を均一磁化せしむる方法 (14年特許出願公告第5494號, 公告14-10-30, 滿洲國, 株式會社昭和製鋼所) 本發明は非磁性鐵礦石を磁化處理するに當りガス體又は固體各種還元劑により過還元に至らしめ酸化により一様な強磁性酸化鐵を生ずる溫度迄還元氣圈内に保持せしめ然る後空氣又は多量の酸素の存在に於て冷却酸化せしめ均一に磁化する方法に係る。

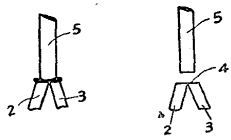
アルミニウム製造方法 (14年特許出願公告第5495號, 公告14-10-30, 東京, 古川喜八) 本發明は $Al \cdot Si \cdot Fe$ 合金を一端に凝縮器を有する減壓電氣爐中にて $1,350^{\circ}C$ 以上に熱し合金中に含まる Al のみを氣化蒸發せしめ凝縮器内に熔融狀態にて純金屬 Al を採取する方法である。

融着性合金 (14年特許出願公告第5496號, 公告14-10-30, 東京工業大學長) 本發明は Zn 75~97%, Al 2~15%, Cu 1~12%, Fe 0.2~3%, Ti 0.2~0.5% を含有する融着性合金に係るもので融點低く強度大で且耐蝕性に富むものである。

燒戻硬化性銅合金 (14年特許出願公告第5497號, 公告14-10-30, 東京, 古河電氣工業株式會社) 本發明は特許第126310號の追加發明にして Zn 5~20%, Ni 8~14%, Mn 1.5~3%, 殘部銅及不純物よりなる燒戻に依り硬化する銅合金に係るもので原特許に於ける Ni の量を増加し燒戻硬化性を一層顯著ならしめ且耐熱耐酸化性耐海水性を増したものである。

鐵鋼類の防銹處理法 (14年特許出願公告第5498號, 公告14-10-30, 川崎市, 太田千代司) 本發明は可溶性珪弗化鹽と其の正規磷酸鹽が水に不溶性又は難溶性なる金屬の酸性磷酸鹽との混合水溶液中に鐵鋼類を浸漬して高溫度で處理し鐵鋼の防銹を行ふ方法である。

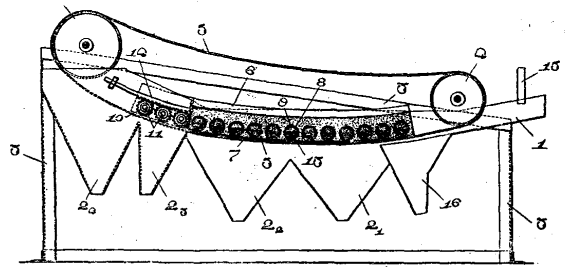
線材熔接法 (14年特許出願公告第5521號, 公告14-10-30, 東京, 株式會社日立製作所) 本發明は圖示せる如く互に接續すべき



2本以上の線材の断面を並べて一の平面部となし該線材に熔接機電極の一方を接續し別に準備せる熔接用補助線材を電極の他方に接續し該熔接用線材の端面を前記の如く並べたる2本以上の線材の平面

部に接せしめて兩者を衝合熔接により熔着する方法で接續すべき線材の熔接箇所が短少にして操作に要する周圍の狭き且線材の融點低き例へば Al 線を使用した電機固定子捲線の接續等に便なるものである。

無端帶型磁力選鑛機 (14年特許出願公告第5528號, 公告14-10-30, 東京, 鈴木運次郎) 本發明は圖示せる如き無端帶の廻行と



永久磁石の磁力とを以て礦物の選別を行ふ選鑛機に裝備せる永久磁石を其の廻動に對して非對照的な形態となし之を各個に又は其の數個宛適度に廻動し得る如く構成した磁力選鑛機に係る。

特許抜萃

番 號	名 稱	特 許 權 者	公 告 抜 萃
131620	鉛電鍍法の改良	日東化學工業株式會社	25-7
131621	電氣收塵方式	株式會社日立製作所	なし
131673	パイプ内部の電熔型金屬噴射裝置	江澤謙二郎	なし
131674	電熔型金屬噴射機	江澤謙二郎	25-7
131702	電射鍍金法によりて被覆形成せる織布を使用する混汞製煉法	江澤謙二郎	25-7
131758	機動及手動兼用加壓鑄造機	木村正作	25-4
131759	加壓鑄造機	木村正作	25-4
131760	加壓鑄造機に於けるダイス壓着裝置	木村正作	25-4
131774	マグネシウム合金防蝕方法	株式會社神戸製鋼所	25-6
131812	不硬化耐高溫高壓合金鋼	住友金屬工業株式會社	なし
131816	冶金用或は化學用廻轉管爐	メタルゲゼル, シヤフト	25-7
131822	鑛石の浮游選鑛方法	豐年製油株式會社	25-7
131828	輕合金製品鑄造用鑄型	榊原郁三	25-6
131833	金合金	泉盈之進	25-7
131912	マグネシウム微粉のブリケットの製造法	日本マグネシウム金屬株式會社	25-7
131913	マグネシウムを電熱的に生成する方法	〃	〃 25-7
131983	永久磁石鋼	増子正	25-4
131984	永久磁石鋼	増子正	25-4
131995	マグネシウム又は其の合金の防蝕方法	株式會社石川島造船所	25-7
132008	アルミニウム合金	古河電氣工業株式會社	25-7